

LOOK & LOOK 辰野高校

VOL. 35

平成22年10月19日
新聞委員会
那須野 奥村 小沢



辰野高校は、普通科と商業科がある学校！

卒業後の進路を考えて！

九月十六日から高校生の就職試験が始まりました。昨年に引き続き今年も、大変厳しい就職状況です。辰野高校でも、地元就職を希望している三年生が、今、就職試験に臨んでいます。それぞれ希望した会社から内定の通知を受け取ることができるよう、がんばっています。二年生は、来年の進路選択にそなえて進路ガイダンスを受

講しました。普通科・商業科、そしてクラスの枠をとりはらって、希望する進路ごとに集まり、説明に耳を傾けました。一年生は、来年のコースごとの授業にそなえて説明会に参加しました。コース決めは将来の進路に大きく影響するため、まず、卒業後の進路について真剣に考

出陣式

就職希望者はこれまで、求人票を調べたり会社訪問をしたりして企業研究を積み重ねました。希望する会社ではどんな仕事をさせていたか、そしてそれは自分がやってみたくない仕事と一致しているのか、自宅から会社までの通勤時間はどのくらいか、職場の雰囲気はどうかなど時間をかけて調べてきました。

また、試験では特に面接が重要であるとのこと、面接できちんとした受け答えができるように先生を相手に、少なくとも4回は模擬面接を受けました。

そして、就職試験解禁前日に、出陣式が開かれました。学校長や進路指導主事から叱咤激励を受け、さあ明日から就職試験の始まりです。



進路ガイダンス

辰野高校では卒業後の進路を意識したコース制の授業をおこなっています。そのため、一年生は、この時期、将来の仕事を真剣に考えます。

また、二年生にとっては三年生の今の活動が、ちょうど一年後の自分たちの姿と重なります。今後一年間にどんな準備をしたらよいのか、将来つきたい仕事や、進学先にわかれてガイダンスを受けました。この時期から、進学を希望する人たちは本格的な受験勉強を始めます。昨年、難関大学に一般試験で合格した先輩方は、各教科の先生方からの個別の指導の下、毎日遅くまで学校で勉強していたそうです。本校ではこうした取り組みにも実績を上げつつあると進路指導の先生からお聞きしました。



卒業生の手記



中学生のころには苦手な科目だった英語を将来の仕事に役立てた

いと進学しました。これは、大学進学を意識して友達と勉強を始めてから英語の面白さに気づいたからです。文系進学コースでしたが、予備校などへは一切いかず、放課後を中心に友達と勉強しました。先生から課題をもらい、指導していただきました。普段は毎日3〜4時間、夏休みなどの休日には8〜10時間勉強しました。わかるようになると思います。面白くなりました。勉強を一緒にする友達との支え合いも心強く感じました。

明治大学文学部英米文学科
O・K (箕輪中学出身)

さんフェア茨城2010

第20回全国産業教育フェア茨城大会



とても大きな大会に驚か

全国の専門高校（農業・工業・商業等）の生徒による、学習成果発表の祭典にいらっしゃいました。この大会への参加は、商業科の場合、長野県からは、北信越地区の代表として4年に一度派遣されます。今年はその年にあたり、辰野高校の商業科が福井商業高校とともに参加しました。

茨城県のつくば市にある「つくば国際会議場」がメイン会場でした。2日間で、大小十九のイベントが企画された大会の中で、規模としては一番大きな「作品展示」で、全国の八十九高校のひとつとしてブースを与えられ、研究成果の展示・実演を求められました。（参加したのは農業・工業・商業・水産・家庭・看護・情報・福祉・総合の九学科です。）

辰野町の活性化

私たちの願い

私たちの展示発表のタイトルは、「地域活性化につながる商品開発への取組」です。二〇〇七年に初めて作成した「たつの弁当」から、現在松本大学と共同して進めている取り組みまでを4枚の模造紙にまとめて掲示しました。

「たつの弁当」は、辰野町の名所を食材に置き換えて、名所の説明を包み紙の裏に印刷した駅弁です。改良の経過についても発表しました。

松本大学との共同開発の商品は、まだ試作の段階ですが、地域のコンビニや食堂などでの販売が夢です。

また、これまでにビジネスコースの人たちが企画して作った「辰高バスター」や「蒸しマロン」「カップイン・ごはん」「月のホテル」



「御柱ロール」「たつくり焼き」などのオリジナル商品も紹介しました。特に、今年作成した「たつくり焼き」の試食では、どのお客様からもおいしいと評判でした。

全国に友達ができました



発表会場では、いろんな地域からの高校生とも仲良くなりました。試食商品の話から始まり、学校のこと、制服の話、お互いの言葉（方言）について話は盛り上がりしました。そして、まだ行ったことのない北海道や中国・四国などの話を聞くと、機会があれば、ぜひ行ってみたいとも感じました。

地域に喜ばれる活動を！



各高校の活動や研究結果を見て歩く、地域に貢献し、地域の活性化につながることをコンセプトとした取り組みが多いことに気がつきました。右上の写真は、サツマイモを冬場でも貯蔵する保管庫で、農産物に付加価値をつけようとした島根県の工業科。左中は、地元の商店街のポスターや都や区の各種ポスターを手がけるデザイン工房を模擬株式会社として立ち上げた東京都の商業科。左下は、普段はベンチでも災害時には共同で炊飯ができるかまどになるアイデアの滋賀県の工業科の取り組みです。私たちが

さらに地域の活性化を

目指していきたいと思



予告：文化系クラブの合同発表会

12月25日(土) 13:00~ 辰野町民会館にて

演劇・声楽・吹奏楽・太鼓・ダンス・イラスト・美術・写真・書道・茶華道などが予定
中学生の皆さま、高校生の皆さま、辰野町内の皆さま、他市町村の皆さま、ぜひご覧ください！